

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援RePort東北若葉教室		
○保護者評価実施期間	R7年10月13日		～ R7年11月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35家庭	(回答者数) 27家庭
○従業者評価実施期間	R7年10月13日		～ R7年11月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士・作業療法士・栄養士・保育士・児童指導員など、さまざまな専門職が連携し、多角的な視点から支援を行っています。職種ごとの専門性を活かしながら情報共有を密に行い、お子様一人ひとりの発達や特性に合わせた、きめ細やかで継続的な支援を大切にしています。	専門職同士が日常的に情報共有できるよう、定期的なミーティングやケース検討の時間を設けています。支援内容や関わり方にズレが生じないように共通理解を大切に、記録や引き継ぎも丁寧にすることで、一貫性のある質の高い支援を意識しています。	より質の高い支援を目指し、外部研修や勉強会への参加を積極的に行います。新たな知見や支援技術を取り入れ、専門職同士で共有することで、連携力と専門性のさらなる向上を図っていきます。
2	教室はアットホームな雰囲気を大切に、お子様が安心して過ごせる環境づくりを心がけています。保護者様との信頼関係も重視し、日々の様子や小さな変化も丁寧に共有します。初めての方でも不安なく通える、温かく居心地の良い教室です。	お子様が「ここに来たい」と感じられるよう、声かけや関わり方、空間づくりに工夫をしています。保護者様とも日々のやり取りを大切に、相談しやすい雰囲気づくりを意識しています。小さな不安や変化も共有し、安心して通える関係性を築いています。	日々の関わりを通して保護者様の声に丁寧に耳を傾け、信頼関係をより深めています。教室内の環境や支援体制を定期的に見直し、お子様と保護者様が安心して過ごせる場づくりをさらに充実させていきます。
3	言葉の発達に特化した専門クラスを設け、一人ひとりの課題や目標に合わせた支援を行っています。また、食育にも力を入れ、楽しみながら「食べる力」や生活習慣を育みます。言語・食・生活を結びつけた実践的な支援が教室の大きな強みです。	言葉の特化型クラスでは、遊びや生活場面を通して無理なく言語力を伸ばせるよう工夫しています。食育では体験を重視し、「見る・触る・食べる」を大切に活動を実施しています。楽しさの中で自然に力が身につく支援を意識しています。	言語支援や食育の内容を定期的に振り返り、発達段階やニーズに応じて活動を更新します。専門性を活かした新たなプログラムを導入し、支援内容のさらなる充実を目指します。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の支援を大切にすることで、保護者様への関わりが十分に行き届かない場面が生じることがあります。状況に応じた具体的な助言まで至らない場合があり、今後さらに丁寧な保護者支援を心がけていきます。	お子様への支援を最優先に取り組む中で、保護者様と十分にお話しする時間の確保が難しい場面があります。また、支援内容を分かりやすく整理しお伝えする仕組みが発展途上であることが、具体的な助言につながりにくい要因と考えています。	保護者様とゆっくりお話しできる機会を大切に、支援の振り返りや家庭での関わり方を共有していきます。職員同士でも伝え方を話し合い、どの職員からも安心して相談していただける体制づくりを目指します。
2	教室で行っている支援や取り組みの魅力を、十分に発信しきれていない点が課題です。情報の伝え方や頻度を工夫することで、より多くの方に安心感や理解を深めていただけるよう努めてまいります。	発信の方法や内容についても模索段階であり、結果として事業所の想いや取り組みを十分に伝えきれていないことが要因と捉えています。	無理のない範囲で情報発信の機会を増やし、日々の様子や取り組みを少しずつお伝えしていきます。分かりやすく親しみやすい発信を心がけ、事業所の雰囲気や想いが自然に伝わるよう工夫していきます。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026/31/21				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	活動を複数用意し、個別室と訓練室を分けることで、落ち着いたゆとりのある空間で支援が行えます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	体を動かす活動、机上活動に分かれることで全体に目を配る事ができます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		手洗い場が利用者様の目線でも手を洗う場所と認識できるよう視覚支援等を検討しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	遊びのコーナーを分けることでそれぞれの動きにあったスペースを確保できています。	季節の変わり目には虫が出ることもあるため対策を取りたいと思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	環境を変えたり、気持ちの切り替えが必要な際には適宜使用できる部屋を準備しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	勤務時間帯がずれる職員にも議事録等で全員に情報共有しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者様が面談しやすいアットホームな雰囲気づくりを心掛けています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	勤務時間帯が異なる職員も別途時間をずらして話し合いの場を設け、支援の共有や意見の交換をしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	モニタリングを行った日にその様子を共有したりカンファレンスを実施しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個々のニーズに合わせて支援をみんなで考えています。システムを使って個別支援計画を確認する事ができるので、支援に活かしやすいです。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	スタッフ全体の振り返りの際に話し合っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	2週間先の支援を決めることで準備に余裕を持ち新しいことを取り入れるようにしています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	支援内容の打合せは前日に行い、当日は詳細の確認、すぐに準備に取り掛かるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	支援が終わると振り返る体制が日常的にできています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	ケア記録を毎日丁寧につけています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2		保護者の皆さまが交流できる機会について、必要に応じて検討していきたいと考えています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	利用者様やスタッフの全員に安心してご利用・勤務いただけるよう、個人情報の取り扱いについては書類にてご意向を確認しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		新しく入社された方や非常勤の方にも、必要な情報が行き届くよう、より丁寧な情報共有を心がけていきたいと考えています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0			

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：令和8年3月21日

事業所名：児童発達支援 児童発達支援RePort 東北若葉教室

対象人数(保護者) 35人 回答者数 27人 回収 77.1%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	5	1	1	不満があるわけではないですがもっと広いにこしたことはないかなと思っています。	活動内容や配置を工夫し、できる限り快適に過ごしていただけるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	2		2	受け渡し時に混むことがあるので2人は職員の方がいらしゃると嬉しです。	安全面にも配慮しながら、可能な範囲で職員配置や対応方法を検討してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	3	1	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26			1		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	2		1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			3	公表している支援プログラムというのがどれのことかわからなかったです。	分かりづらい点があり、申し訳ございません。ホームページの「プログラム公表について」に記載しております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	26			1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23			4		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1		1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26			1	11ヶ月経った今でも新しい遊びを取り入れてくださり大変感謝しております。	長くご利用いただく中でも、新しい遊びを取り入れてくださる点を評価していただき、大変励みになります。今後もお子さまの成長に合わせた活動を工夫してまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	1	5	10		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	9	8	事業所ではどのように工夫されていて、家庭ではどのようにやってほしいなどのアドバイスをいただきたいです。家族参加は苦手なので(意見交換等が)、個人的には現状維持が助かる。	事業所での関わり方やご家庭で意識していただきたい点についてもう少し具体的な共有が必要だと受け止めております。ご負担にならない形を大切にしながらモニタリングなどの機会にお伝えできるような努めてまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23	3	1		送迎時の短い時間だけでは十分な情報共有が難しいため、保護者からも情報を伝えやすい仕組みがあるよというご意見がありました。また、活動報告について、子どもの様子がより分かる内容を望むご意見もありました。	送迎時のやり取りに加え、アプリ等活用しながら保護者の皆さまと情報共有ができるよう取り組んでおります。今後もお子さま一人ひとりの様子が分かりやすく伝わるよう、共有方法や内容について工夫してまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	3	1		面談の機会は設けられているが、家庭での関わり方などについて、もう少し具体的な助言があるとよというご意見がありました。	面談や日々のやり取りを通して保護者の皆さまのお話を丁寧に伺うことを大切にしております。今後は、お子さまの状況に応じて家庭での関わり方などについても、必要に応じて具体的な助言や情報提供ができるよう努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	1	1	11	14	Q14と同じ。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	5		4		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	3		1		
	21 定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	4		3	自己評価の結果や行事予定などの情報について、ホームページ等での情報発信を望むご意見がありました。	自己評価の結果については、ホームページ等を通して公表しております。今後は必要な情報が分かりやすく伝わるよう、情報発信の方法について工夫してまいります。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25			2			

非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	1	11		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	1	14	避難訓練について実施のお知らせは届いているが、具体的な内容や実施方法が分かりにくいというご意見がありました。	当事業所では定期的に避難訓練を実施しております。今後は訓練の内容や実施方法についても、保護者の皆さまに分かりやすくお伝えできるような情報共有の方法を工夫してまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	19	1		7		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	20	2		5		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	1		1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	1			事業所での関わり方や支援の方法について、家庭でも参考にできるよう共有してほしいというご意見がありました。また、モニタリングの機会や今後の支援についての助言をもう少し増やしてほしいというご意見もありました。	事業所での関わり方や支援のポイントについて、家庭でも参考にさせていただけるよう、面談や日々のやり取りを通して分かりやすく共有してまいります。また、モニタリングや支援の振り返りの機会を活用しながら、今後の支援の方向性についても丁寧にお伝えできるよう努めてまいります。